

## 祝新成人 一生涯貫く仕事をもとう！

一元芥見東小学校恩師・長縄 幸弘先生

成人式を迎えられた皆さんとは、芥見東小学校の一、二、五、六年生の担任として一緒に過ごしました。毎日のようにサッカーをやったことが忘れられません。皆さんの中には、もう働いている人、これから仕事を考える人がいると

思います。世の中で立派なことは、一生涯を貫く仕事を持つことだと思います。その仕事が、人のために役

立てばさらに良いことでしょ。自分の夢をかなえることのできる仕事を持ってください。

また昨年東北の大震災で大切にされた言葉が「絆」でした。

家族や友人、そして故郷。これらの大切さが改めて見直されました。

故郷は、桜の木でいえば根っこです。きれいな花を咲かせる木は、目に見えない根がしっかりしています。皆さんも「独り」ではないことを忘れないでほしい。そして、何時か卒業式で歌った森山直太朗の「桜」を皆で歌うことができる日を楽しみにしています。 □■

## 文部科学大臣賞受賞 夢は和菓子職人に

一元芥見東小教頭・佐藤 美子先生

芥見東小学校4年生、服部菜々香さん(コモンヒルズ北山)は、第15回全国児童生徒地図優秀作品展(国土地理院等主催)で、最優秀の文部科学大臣賞を受け、東京・霞が関の国交省で、奥田健国交省副大臣から表彰されました。(1月10日)

服部さんの将来の夢は和菓子職人で、この夏休みを利用して、岐阜市の和菓子店でどんな和菓子がつくられ販売されているかを調べました。その中で、「フル

## 祝新成人 前向きに人生を歩んで！

一元藍川東中学校恩師・篠田 龍祐先生

新成人おめでとうございます。中学校を卒業して5年、こうして立派な姿を見ることができて嬉しく思います。

いよいよ今日から大人としてスタートです。これからは、私も想像つかないほどの長い道のりです。

時にはうまくいかないこともあるでしょう。そんな時には、皆さんが中学時代からもっている「自分自身の中

にある道を切り開いていくエネルギー」、「仲間を大切にしながら前向きに努力できる心」、「故郷やそこに住む地域の人や家族を大切にで

きる心」を思い出してください。きっと素敵な道になっていくと思っています。

「社会的責任が大きくなる」といわれますが、考え方を変えると、自分の力でいろいろなことができるというのは素敵なことですね。

これからも前向きに人生を歩んでいき、さらに活躍してもらえることを期待しています。 □■



芥見東・南の新成人 89名を祝い励ます会 1月9日東部コミセンで

配布

大洞

4-80

東山

4-51

北山

38-360

コモン北

5-89

桜台

23-336

桜市

40-298

柏台

31-331

柏市

26-211

桐丘

23-196

桐市

6-41

紅葉

21-268

紅市

16-126

桜2P

1-25

計 237

/2411

ーツパフェ大福」といって大福の中にいろいろな果物が入っている和菓子が気に入ったということです。

調べた内容はファイルにまとめると共に、2m×3mの地図の中に写真や説明記事を記入した分かりやすい地図作品に仕上げてあります。 □■



**豊かな自然 里山をウォーキングする**

—子ども会育成者協議会長・西尾 さおりさん

子ども会の会長を引き受けて、自治会の会議に参加することも多々あります。その中で幾度となくお話しいただいた里山整備については、いつも興味深く聞いていました。そう言いながら、整備のお手伝いにも、お祭りにも参加できず、結局里山に行ったことがありませんでした。・・・が。



このお正月、今年こそ「めざせ ー 10kg!」で家族を巻き込んでウォーキング三昧のお休みを過ごし、そしてようやくウォーキングコースのひとつとして里山を散策することができました。とても歩きやすく整備され、木々に目印のテープが付いていて、安心して進めました。

なによりも自然の中を気持ちよく歩くことができ、豊かな自然が身近にあって本当に良い地域だとしみじみと感ずることができました。まだ行かれたことのない方はぜひ歩いてみてください。 □■

**水防団 水害・地震の減災に役立ちたい**

—芥見水防団部長・後藤 良三さん

要請されたものの断る理由もなく入団しましたが、消防団などの経験が一度もなく最初は不安でした。

しかし、入団してからは、団長をはじめ先輩団員の人たちが親切丁寧に動作・工法を教えてくださいました。

入団した平成16年10月、台風23号による集中豪雨で水の恐ろしさを目の当たりにしました。無我夢中で土



のうを作り、積土のう工をやったことが忘れられません。

昨年の大震災やゲリラ豪雨による水害が毎年のように起きております。これからは、地域の防災組織として、水害だけでなく地震などの

災害に対しても住民を守ることが本当の任務かもしれません。その上で、消防団との連携を今まで以上に密にして減災に少しでも役に立てればと思います。

最後に水防団に入団したことにより多くの友達ができたと感謝しています。 □■

**里山 笹舟、水車・・・思い出する故郷**

—紅葉が丘支部長・河村 理恵子さん

里山に足を運び、自然の中に身を置き、カサコソと動く木々の葉の響きに耳を寄せると、林の草木の匂いを通して昔懐かしい思いがよみがえってきます。

小さい頃、祖父に連れられ畑に行った時のこと。昼時になり箸がないことに気づき、祖父は木の枝を切って箸を作ってくれました。あの木の箸の白さ、鉋を使う祖父のごつごつとした手。あぜ道にへビが出てきて身のすくむ思いをしたこと。不思議なものです。今までずっと忘れていたその情景がはっきりと思い出されてくるのです。

この里山の自然の中で、今度は私たちが子どもたちに思い出を作っておける番なのではないでしょうか。

虫や小動物探し、木の実、つるなど自然物を使っでの遊びや製作。木や花の名前を覚えながらのスタンプラリー。湧き水での水車遊び、笹舟流しなど。



それぞれの四季の中で様々な遊びをすることができるのではと、夢を一杯ふくらませてくれる里山です。 □■

**水ロケット 童心に戻って未来旅行を**

—桜台市営支部・加藤 正吉さん

芥見東青少年育成市民会議が催した水ロケットの打ち上げに参加させていただき、半分子どもの頃の心に戻ってました。

水と空気を利用し、飛行させる水ロケット、今風でいう超省エネロケットでした。

川崎重工出身の技術者の指導で、組み立て、打ち上げを体験しましたが、どの組も発射は成功していました。

米国 NASA のロケットは、燃料と酸素を化合させ推進力を発生させ飛行しますが、水ロケットの方は燃料をまったく使いません。

一人乗りの近距離旅行なら水ロケット旅行が実現できるかも知れない。今年の7月は子どもたちととても楽しく過ごしました。 □■



☆バドミントン交流会2月5日(日)9時〜 藍川東中体育館 “おいしいおしるこが出ます”

主催・青少年育成市民会議・体育振興会